

SONY

マネージドクラウド
新バージョンリリースのお知らせ
Version 2.7.0

2024年9月26日

ソニービズネットワークス株式会社

目次

- マネージドクラウドポータル全体
 - ページ名検索
- マネージクラウド with AWS
 - リモート管理
 - サーバ管理
 - ネットワーク管理
 - カスタマイズAPI
 - AIサービス管理
- クラウドゲートウェイ
 - 画面改修
- マネージド閉域接続
 - ルータのファームウェアリリース
 - 画面改修

目次

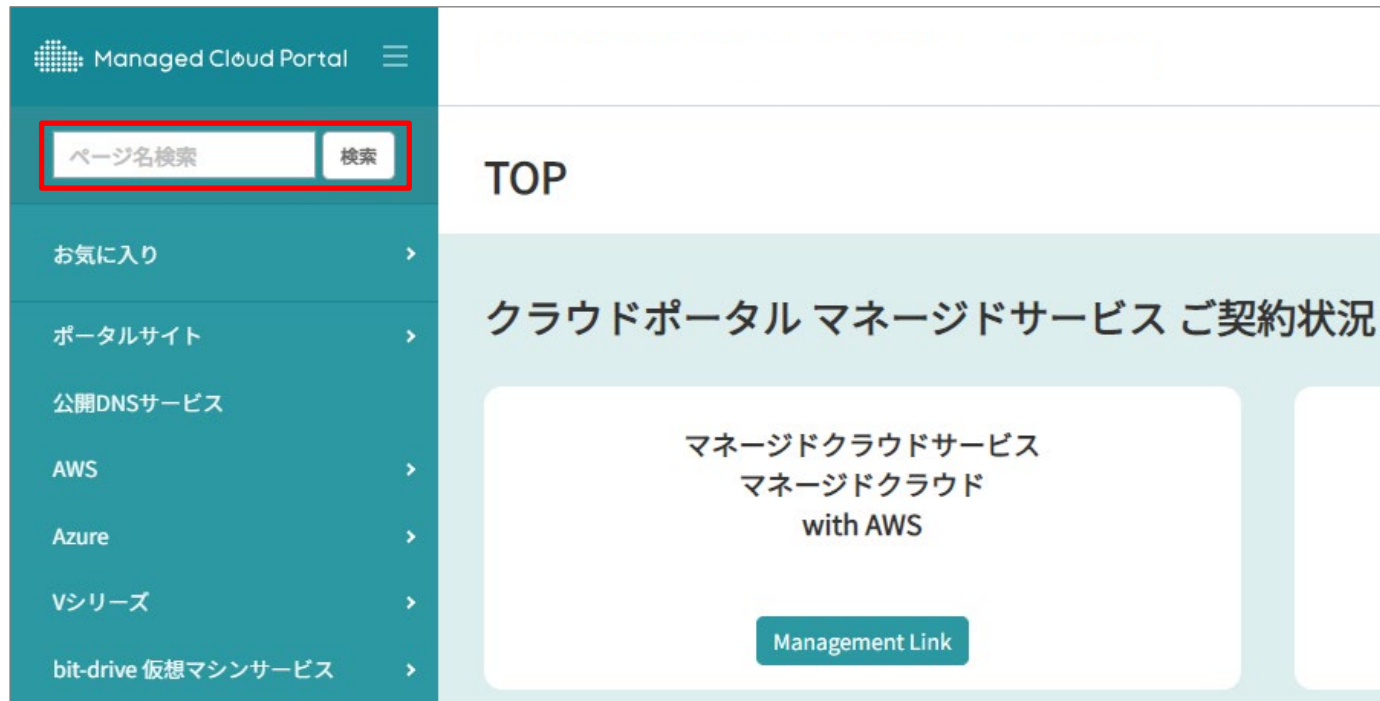
- マネージドインターネットルータ
 - ルータのファームウェアリリース
 - ルータ設定

- ソリューションパッケージ
 - WatchGuard FireboxV

マネージドクラウドポータル全体

ページ名検索

- ページ名検索において半角・全角、大文字・小文字を区別せず検索できるよう修正しました。



マネージドクラウド with AWS

リモート管理

- リモート管理において「サーバーログ出力追加」と「Mem/Disk監視追加」を個別で設定できるように変更しました。また、CloudWatchエージェント関連設定ボタンを新たに追加しました。

リモート管理 お気に入り登録

リージョン指定および絞り込み検索 + 開く

マネージドインスタンス一覧 インスタンス登録 1ページの表示件数: 10

インスタンス名	基本情報	SYSTEM MANAGER設定			CloudWatchエージェント	設定
		実行内容	実行予約状況	結果		
Windows_Tomi	Offline ID: OS: IP: SSMエージェント: ver.3.3.131.0	カスタム	設定なし	実行完了(2024/03/01 14:46:08)	設定	設定
		パッチ適用	設定なし	実行エラー(2024/03/01 15:11:11)		削除
Win2018_	Offline ID: OS: IP: SSMエージェント: バージョン	脆弱性スキャン	-	-	設定	設定
		CloudWatchエージェントインストール ディスク監視追加 & サ 追加)	-	実行完了(2024/08/21 16:56:19)		削除

CloudWatchエージェント設定を独立

SSMエージェントのバージョン表示

リモート管理

- リモート管理において「サーバーログ出力追加」と「Mem/Disk監視追加」を個別で設定できるように変更しました。また、Cloudwatchエージェント関連設定ボタンを新たに追加しました。

リモート管理

リージョン指定および絞り込み検索

マネージドイン

SSMエージェントバージョンを表示

CloudWatchエージェント設定

Linuxの場合

インスタンスID

エージェントバージョン ver.1.300033.0b462

メモリ使用率 取得する 取得しない

ディスク使用率 取得する 取得しない

取得ログ 出力する 出力しない

下記ログを出力します。
ログはサーバーログ監視にて参照可能です。

- /var/log/messages
- /var/log/secure
- /var/log/syslog
- /var/log/auth.log

通知設定 PortalTopic-Iriko_TEST_20231016_120418

通知管理へ

キャンセル 設定

メモリ使用率、ディスク使用率、取得ログにおいて個別で設定可能

インスタンス名	基本情報
Windows_Tomi	Offline ID : OS : IP : SSMエージェント : バージョ
Win2018_	Offline ID : OS : IP : SSMエージェント : バージョ

CloudWatchエージェント	設定
設定	設定 削除
設定	設定 削除

リモート管理

- リモート管理において「サーバーログ出力追加」と「Mem/Disk監視追加」を個別で設定できるように変更しました。また、Cloudwatchエージェント関連設定ボタンを新たに追加しました。

The screenshot displays the AWS Management Console interface for remote management. It features a table of instances, a configuration modal for the CloudWatch Agent, and a list of instances with '設定' (Configure) buttons.

リモート管理

リージョン指定および絞り込み検索

マネージドイン

SSMエージェントバージョンを表示

Windowsの場合

CloudWatchエージェント設定

インスタンスID

エージェントバージョン ver.1.4.37899

メモリ使用率 取得する 取得しない

ディスク使用率 取得する 取得しない

監視するドライブを指定する
全体
C: D: E: F: G: その他

取得ログ 出力する 出力しない

下記ログを出力します。
ログはサーバーログ監査にて参照可能です。

- winevt/Logs/System
- winevt/Logs/Security
- winevt/Logs/Application

通知設定 通知先を選択
[通知管理へ](#)

キャンセル 設定

メモリ使用率、ディスク使用率、取得ログにおいて個別で設定可能

お気に入り登録

+ 開く

マネージドインスタンス登録 1ページの表示件数: 10

インスタンス名	基本情報	CloudWatchエージェント	設定
Windows_Tomi	Offline ID: OS: IP: SSMエージェント: バージョン取	03/01 14:46:08]	設定 削除
Win2018_	Offline ID: OS: IP: SSMエージェント: バージョン取	03/01 15:11:11]	設定 削除
		08/21 16:56:19]	設定 削除

サーバ管理

- EC2管理 > インスタンス一覧のインスタンス名絞り込みにおいて、半角・全角、大文字・小文字を区別せずに検索をかけれるように変更しました。

TOP > AWS > サーバ管理 > EC2管理 > インスタンス一覧

インスタンス一覧

お気に入り登録

🔍 リージョン指定および絞り込み検索 閉じる

リージョン選択	アジアパシフィック (東京)	インスタンスタイプ	
サブネット選択		セキュリティグループ	
リソースグループ選択		アベイラビリティゾーン	
絞り込み (インスタンス名/ID)	インスタンス名/インスタンスID	インスタンスの状態 起動/停止	
絞り込み (メモ)	メモ情報		

条件をクリア 検索

サーバ管理

- インスタンス一覧において、初期表示時のソート順を変更しました。ソート順は下記になります。

1. インスタンスの状態
2. インスタンス名
3. インスタンスID

インスタンス名	インスタンスタイプ	IPアドレス	アベイラビリティゾーン	セキュリティグループ	運用監視	レプリケーション設定	インスタンスの状態 起動/停止
qa-test ID: メモ: [変更]	t2.micro	PIP1: 172.31.44.164 PIP2: GIP: EIP:	ap-northeast-1a (apne1-az4)	launch-wizard-11 [変更]	[詳細]	[確認]	● running スケジュール 設定なし [停止]
20240723_QA_test ID: メモ: [変更]	t2.micro	PIP1: 172.31.36.67 PIP2: GIP: EIP:	ap-northeast-1a (apne1-az4)	launch-wizard-12 [変更]	[詳細]	[確認]	● stopped スケ ジュ ール 設定 なし [起動]
aws-cloud9-qa20240824test-3c 1e263fb6564d1280d0dc5c3cb1 e0b0 ID: メモ: [変更]	t2.micro	PIP1: 172.31.16.31 PIP2: GIP: EIP:	ap-northeast-1d (apne1-az2)	aws-cloud9-qa20240824tes t-3c1e263fb6564d1280d0dc 5c3cb1e0b0-InstanceSecuri tyGroup-fnbfp/KITAoK [変更]	[詳細]	[確認]	● stopped スケ ジュ ール 設定 なし [起動]
v27test ID: メモ: [変更]	t2.micro	PIP1: 172.31.48.143 PIP2: GIP: EIP:	ap-northeast-1c (apne1-az1)	launch-wizard-21 [変更]	[詳細]	[確認]	● stopped スケ ジュ ール 設定 なし [設定]

インスタンス名、
インスタンスIDでソート

インスタンスの状態
でソート

サーバ管理

- スナップショットの一覧において、初期表示時のソート順を変更しました。ソート順は下記になります。
 1. インスタンス名
 2. インスタンスID

インスタンス一覧表示 (スナップショット 設定状況)

東京

[更新](#) [リストア実施後のデータタッチされているEBS一覧](#) [スケジュール一括設定](#) 1ページの表示件数: 10

インスタンス名	EBS情報	スケジュール設定	手動実行	ファイル管理	リストア管理	ジョブステータス
 20240723_QA_test ID : メモ :	Root : 30GiB vol-9dab2ddef40eac32	スケジュール 設定なし 設定	実行	詳細	詳細	✔ スナップショット作成完了 (2024/07/23 10:21:23)
 aws-cloud9-qa20240824te st-3c1e263fb6564d1280d0 dc5c3cb1e0b0 ID : メモ :	Root : 10GiB vol-93dd90b813d83df14	スケジュール 設定なし 設定	実行	詳細	詳細	
 qa-test ID : メモ :	Root : 8GiB vol-06616a8420bc9126f	スケジュール 設定なし 設定	実行	詳細	詳細	
 v27test ID : メモ :	Root : 30GiB vol-014f05989fb339673	スケジュール 設定なし 設定	実行	詳細	詳細	

インスタンス名、
インスタンスIDでソート

サーバ管理

- イメージバックアップの一覧において、初期表示時のソート順を変更しました。

ソート順は下記になります。

1. インスタンス名
2. インスタンスID

インスタンス一覧表示（イメージバックアップ設定状況）

東京 更新 スケジュール一括設定 1ページの表示件数: 10

インスタンス名	スケジュール設定	手動実行	ファイル管理	リストア管理	ジョブステータス
 20240723_QA_test ID : メモ :	スケジュール 設定なし <input type="button" value="設定"/>	<input type="button" value="実行"/>	<input type="button" value="詳細"/>	<input type="button" value="詳細"/>	
 aws-cloud9-qa20240824test-3c1e263fb6564d1 280d0dc5c3cb1e0b0 ID : メモ :	スケジュール 設定なし <input type="button" value="設定"/>	<input type="button" value="実行"/>	<input type="button" value="詳細"/>	<input type="button" value="詳細"/>	
 qa-test ID : メモ :	スケジュール 設定なし <input type="button" value="設定"/>	<input type="button" value="実行"/>	<input type="button" value="詳細"/>	<input type="button" value="詳細"/>	
 v27test ID : メモ :	スケジュール 設定なし <input type="button" value="設定"/>	<input type="button" value="実行"/>	<input type="button" value="詳細"/>	<input type="button" value="詳細"/>	
 Win2018 ID : メモ : Win_oka_2024082x	スケジュール 設定なし <input type="button" value="設定"/>	<input type="button" value="実行"/>	<input type="button" value="詳細"/>	<input type="button" value="詳細"/>	



インスタンス名、
インスタンスIDでソート

サーバ管理

- 物理サーバ管理 サーバの一覧において、初期表示時のソート順を変更しました。

ソート順は下記になります。

1. 物理サーバの状態
2. 物理サーバ名
3. 物理サーバID

物理サーバ一覧		アクティベーション一覧	1ページごの表示件数: 10
物理サーバ	サーバ情報	運用監視	登録解除
 物理サーバ ID: mi-0cb85eb0456380f1e メモ: 状態: ● ConnectionLost <input type="button" value="変更"/>	ホスト名: dummy-onpre-server OS: Amazon Linux IP: 172.16.240.111	<input type="button" value="詳細"/>	<input type="button" value="登録解除"/>
 物理サーバ ID: mi-02d44c09a270d878d メモ: 状態: ● ConnectionLost <input type="button" value="変更"/>	ホスト名: jp-172-16-240-87.ap-northeast-1.compute.internal OS: Amazon Linux IP: 172.16.240.87	<input type="button" value="詳細"/>	<input type="button" value="登録解除"/>
 物理サーバ ID: mi-08de74b6a17ee774b メモ: 状態: ● ConnectionLost <input type="button" value="変更"/>	ホスト名: WIN-99BOSVOTJII.local.jp OS: Microsoft Windows Server 2019 Standard Evaluation IP: 192.168.10.6	<input type="button" value="詳細"/>	<input type="button" value="登録解除"/>

物理サーバの状態、物理サーバ名、物理サーバIDでソート

- EC2運用監視のEC2アラーム通知設定において、Windowsのメモリ監視の場合設定指標としてインスタンスタイプのメモリサイズ表示を追加しました。

TOP > AWS > サーバ管理 > EC2管理 > インスタンス一覧 > 運用監視 > EC2アラーム通知設定

EC2アラーム通知設定

[お気に入り登録](#)

アラームの閾値種類 静的(値を閾値として使用) 異常検出(バンドを閾値として使用)

アラームの閾値設定

メモリ空き容量(MemoryAvailableMBytes)が >= MByteを 回連続した場合

【参考】 インスタンスタイプ「t2.micro」のメモリは1024MByteです

通知リスト: [新規通知 or アラーム管理リンク](#)

通知の送信先

期間:

統計:

マネージド自動復旧管理 自動復旧アクション: なし

ネットワーク管理

- セキュリティグループ管理にて、Nameタグ情報の変更機能を追加しました。

TOP > AWS > ネットワーク管理 > セキュリティグループ管理

セキュリティグループ管理

お気に入り登録

リージョン選択: アジアパシフィック (東京) | 1ページの表示件数: 10

Name	セキュリティグループ名	グループID	サーバー一覧	設定	複製	削除
000_AAA				変更	複製	削除
001_AAA		00		変更	複製	削除

セキュリティグループ追加

セキュリティグループName変更

セキュリティグループのNameタグを変更します。

Name:

キャンセル 設定

1 2 3 ... → →

ネットワーク管理

- セキュリティグループ管理にて、セキュリティグループの複製機能を追加しました。

TOP > AWS > ネットワーク管理 > セキュリティグループ管理

セキュリティグループ管理

お気に入り登録

リージョン選択 アジアパシフィック

ページの表示件数: 10

Name		複製	削除
000_AAA	変更	複製	削除
001_AAA	変更	複製	削除

セキュリティグループ追加

セキュリティグループ複製

セキュリティグループ名[001_AAA]を複製します。
インバウンドルール・アウトバウンドルールが複製されます。

セキュリティグループ名

VPC

キャンセル 設定

1 2 3 ... → →

ネットワーク管理

- セキュリティグループ設定にて、送信元としてマネージドプレフィックスとセキュリティグループを選択できる機能を追加しました。

TOP > AWS > ネットワーク管理 > セキュリティグループ管理 > セキュリティグループ設定

セキュリティグループ設定

リージョン: 東京

セキュリティグループ名: sg-aaa

VPC:

適応ルール:

タイプ	プロトコル	送信元	操作
HTTPS	TCP	PrefixList	表示
カスタム TCP ルール	TCP	SecurityGroup	
カスタム TCP ルール	TCP	CIDR Block	

ルール追加

戻る 設定

お気に入り登録

マナージドプレフィックスリストと既存のセキュリティグループを追加

マナージドプレフィックスリストにおいては、表示ボタンで概要を確認可能

✓ CIDR Block
SecurityGroup
PrefixList

CIDR	説明	削除
0.0.0.0/0	test	削除
		削除
		削除

カスタマイズAPI

- カスタマイズAPIのコマンド登録にて、生成AIにより選択サービスのCLIコマンドを自動生成してユーザーに提案する機能を追加しました。

TOP > AWS > カスタマイズAPI管理 > 新規追加

新規追加

カスタマイズAPI設定

カスタマイズAPI名

実行スクリプト

APIテンプレート

AWS CLIコマンド生成

指定したサービス、コマンド、オプションを指定しコマンドを生成します。学習状況によっては生成することができないコマンドも存在します。

AWSサービス:

コマンド一覧

- modify-volume - EBSボリュームの設定を変更します
- modify-volume-attribute - ボリュームの属性を変更します
- modify-vpc-attribute - VPCの属性を変更します
- modify-vpc-endpoint - VPCエンドポイントを変更します
- modify-vpc-endpoint-connection-notification - VPCエンドポイント接続通知を変更します

✓ サービスを選択

- A4B(AlexaforBusiness)
- ACM(AWSCertificateManager)
- ACMPCA(AWSCertificateManagerPrivateCertificateAuthority)
- AMP(AmazonManagedServiceforPrometheus)
- APIGateway(AmazonAPIGateway)
- APIGatewayManagementAPI
- APIGatewayV2
- Account(AWSAccountManagement)
- Amplify(AWSAmplify)
- AppConfig(AWSAppConfig)
- AppFlow(AmazonAppFlow)

Claude 3.5 Sonnet による翻訳と要約

カスタマイズAPI

- カスタマイズAPIのコマンド登録にて、生成AIにより選択サービスのCLIコマンドを自動生成してユーザーに提案する機能を追加しました。

TOP > AWS > カスタマイズAPI管理 > 新規追加

新規追加

カスタマイズAPI設定

カスタマイズAPI名

実行スクリプト

APIテンプレート

コマンド一覧

- modify-volume - EBSボリュームの設定を変更します
- modify-volume-attribute - ボリュームの属性を変更します
- modify-vpc-attribute - VPCの属性を変更します
- modify-vpc-endpoint - VPCエンドポイントを変更します
- modify-vpc-endpoint-connection-configuration - VPCエンドポイント接続構成を変更します

オプション

- volume-id: 変更するEBSボリュームのID(必須)
- size: ボリュームのサイズをGiB単位で指定
- volume-type: ボリュームタイプ (gp2, gp3, io1, io2, sc1, st1)
- iops: I/Oオペレーション/秒 (IOPS)
- throughput: スループット (MiB/秒)

グローバルオプション

- debug: デバッグログを有効化
- endpoint-url: サービスエンドポイントのURL
- no-verify-ssl: SSL証明書の検証を無効化
- no-paginate: 結果の自動ページネーションを無効化
- output: 出力形式

Claude 3.5 Sonnet による翻訳と要約

カスタマイズAPI

- カスタマイズAPIのコマンド登録にて、生成AIにより選択サービスのCLIコマンドを自動生成してユーザーに提案する機能を追加しました。

TOP > AWS > カスタマイズAPI管理 > 新規追加

新規追加

カスタマイズAPI設定

カスタマイズAPI名

実行スクリプト

APIテンプレート

オプション

- volume-id: 変更するEBSボリュームのID(必須)
- size: ボリュームのサイズをGiB単位で指定
- volume-type: ボリュームタイプ (gp2, gp3, io1, io2, sc1, st1)
- iops: I/Oオペレーション/秒 (IOPS)
- throughput: スループット (MiB/秒)

グローバルオプション

- debug: デバッグログを有効化
- endpoint-url: サービスエンドポイントのURL
- no-verify-ssl: SSL証明書の検証を無効化
- no-paginate: 結果の自動ページネーションを無効化
- output: 出力形式

生成されたコマンド

```
aws ec2 modify-volume --volume-id <value> --size <value> --volume-type <value>
```

コマンド概要

このコマンドは、指定されたEBSボリュームの属性を変更します。--volume-idオプションで対象のボリュームIDを指定し、--sizeオプションで新しいボリュームサイズ (GiB) を、--volume-typeオプションで新しいボリュームタイプ (例: gp2, io1, sc1, st1) を指定します。このコマンドを使用することで、既存のEBSボリュームのサイズやタイプを簡単に変更することができます。

Claude 3.5 Sonnet によるコマンド生成と概要文の生成

カスタマイズAPI

- カスタマイズAPIのコマンド登録にて、生成AIにより選択サービスのCLIコマンドを自動生成してユーザーに提案する機能を追加しました。

TOP > AWS > カスタマイズAPI管理 > 新規追加

新規追加

カスタマイズAPI設定

カスタマイズAPI名

実行スクリプト

生成したコマンドを挿入

APIテンプレート

```
ec2 modify-volume --volume-id <value> --size <value> --volume-type <value> --endpoint-url <value>
```

AIサービス管理

- API連携管理にて、Prediction One側のモデル・データセットを表示・削除できる機能を追加しました。

TOP > AWS > AIサービス管理 > API連携 > API実行結果管理

API実行結果管理

お気に入り登録

API URL選択
20240823_v2.7(https://developer-api.predictionone.sony.biz/v1/external/models) 表示

POモデル一覧 POデータセット一覧

通知設定

Prediction One連携APIを選択した場合表示

学習結果のメール通知 On Off

学習結果のSlack通知 On Off

ステータスチェックの間隔 (分)

AIサービス管理

- API連携管理にて、Prediction One側のモデル・データセットを表示・削除できる機能を追加しました。

TOP > AWS > AIサービス管理 > API連携 > API実行結果管理 > POモデル一覧

POモデル一覧

モデルを一括削除

下記のモデルを削除します。よろしいですか？

モデルID	名称
33899	1_顧客の声.csv
33901	1_顧客の声.csv

キャンセル 削除

選択したモデルを一括削除 1ページの表示件数: 10

モデルID	API利用	更新日時	作成日時	削除
33899				<input checked="" type="checkbox"/>
33901				<input checked="" type="checkbox"/>
33902	true	2023-09-15	2023-09-15	<input type="checkbox"/>

削除したいモデルを選択

コンフィグ

```
{
  "cv": "0",
  "dataset_id": "48439",
  "tc": "楊訂陣(論綜卒権)",
  "tsc": "奈水",
  "tsin": "true",
  "tsines": "[]",
  "tt": "regression"
}
```

キャンセル

AIサービス管理

- API連携管理にて、Prediction One側のモデル・データセットを表示・削除できる機能を追加しました。

TOP > AWS > AIサービス管理 > API連携 > API実行結果管理 > POデータセット一覧

POデータセット一覧

データセットを一括削除

下記のデータセットを削除します。よろしいですか？

データセットID	名称
47711	learn_1_プレミアムサービス購入.csv
47747	learn_1_プレミアムサービス購入.csv

キャンセル 削除

選択したデータセットを一括削除 1ページの表示件数: 10

モデル名	データ数	データサイズ	ダウンロードURL	更新日時	作成日時	削除				
	280	0.02MB	ダウンロード	2023-09-12	2023-09-12	<input checked="" type="checkbox"/>				
	280	0.02MB	ダウンロード	2023-09-12	2023-09-12	<input checked="" type="checkbox"/>				
47751	785471060978 565120	learn_1_顧客の声.csv	csv	7	407	0.11MB	ダウンロード	2023-09-12	2023-09-12	<input type="checkbox"/>

1 2 3 ... → ⇒

データセットをダウンロード

AIサービス管理

- 生成AIソリューションのセキュリティアラート通知において、アラート内容の履歴を表示できる機能を追加しました。

The screenshot displays the '通知履歴' (Notification History) page in the AI Service Management console. The page is divided into two main sections: a list of notifications and a detailed view of a selected notification.

通知履歴 (Notification History)

breadcrumb: TOP > AWS > 生成AIソリューション > 通知履歴

通知履歴

🔍 リージョン選択

重大度	タイトル
HIGH	HIGH: AI
HIGH	HIGH: AI
MEDIUM	MEDIUM

セキュリティアラート通知履歴詳細 (Security Alert Notification History Detail)

以下の内容でアラートメールを作成します。

【対象アカウント】

- アカウントID: 123456789012

【発生日時】

- 2023年5月22日 13:20 JCT

【概要】

- 非認可のIAMロールの利用
- AWSリソースへの不審なアクセスが検出されました。
- 重要度: 高 - 不正アクセスの可能性があるため

【リソース】

- IAMロール: Role123
- リソースタイプ: S3バケット
- リソース名: bucket-abc

【分析】

本アラートは、GuardDutyが非認可のIAMロールを検出したことによるものです。アカウントへの不審なアクセス痕跡が確認されました。時系列の流れとしては、まず外部からアカウントにアクセスし、IAMロールRole123を作成しました。次にこのロールを利用してS3バケットbucket-abcにアクセスしたと推測されます。役割の作成と利用の経緯から、アカウントへの不正アクセスの可能性が高いと判断されます。このまま放置すると、リソースの情報漏洩や改ざんなどの被害に繋がる危険性があります。速やかな調査と対処が必要不可欠です。

【対処法】

- IAMロールRole123の削除: 不正なアクセスポイントを遮断できる
- S3バケットbucket-abcのアクセス権限の見直し: バケット内データの漏洩を防止できる
- CloudTrailログの確認: 不正アクセスの経緯を追跡・分析できる

◆要約

AWSアカウント123456789012において、2023年5月22日13時20分頃に不正なIAMロールを利用した不審なアクセスが検出されました。不正ロールRole123を介してS3バケットbucket-abcへのアクセスが確認されており、情報漏洩のリスクが高いと判断されます。役割削除、バケットアクセス権限直し、ログ解析などの対応が必要です。

◆お問い合わせ

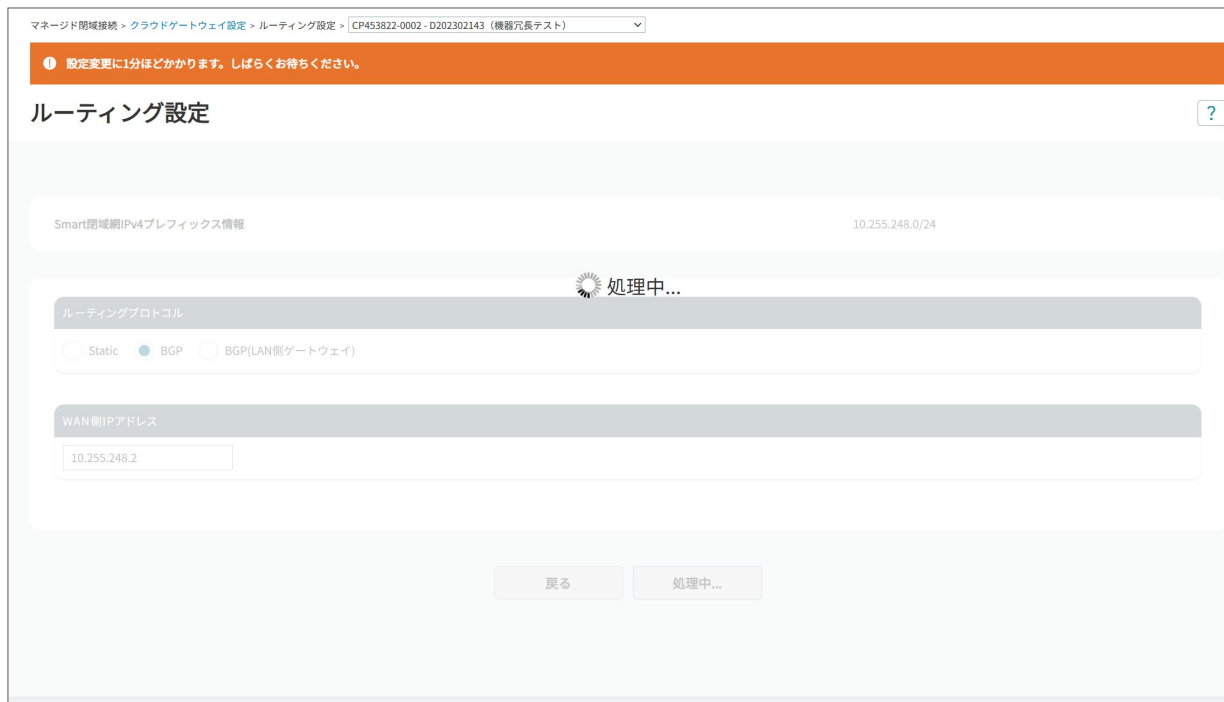
ご不明点やサポート対応をご希望される際は、弊社クラウドポータルからサポートケースの起票をお願いいたします。
https://cloud-portal.jp/users/sign_in

閉じる

クラウドゲートウェイ

画面改修

- 不用意な多重保存を防ぐために設定中は画面をグレースアウトして他の操作ができないよう変更しました。



マネージド閉域接続


ルータのファームウェアリリース

- ルータの新しいファームウェア ver 21.11.14をリリースしました。
※お客さまにてルータのバージョンアップを実行していただく必要がございます。

画面改修

- 他のユーザによる重複操作を防止するために他のユーザが操作中の場合、設定ボタンを『変更中』と表示するよう変更します。

各閉域アクセス回線にルータ（L3）を接続して利用する場合は、閉域網側に拠点側のセグメント情報を共有するために、必ず事前に下記ルーティング設定が必要となります。

拠点No 拠点名	回線情報					
	契約回線 契約プラン	回線ID	プロトコル	拠点WAN側IPアドレス	拠点側サブネット	設定
CP453822-0002 機器冗長テスト 	Smart SmartひかりF Fam	D202302143	BGP	10.255.248.2		変更中 
CP453822-0003 機器橋渡し兼用冗長NURO 	Smart SmartEther BE 100M	D202302141	BGP	10.255.248.4		設定
	NURO NURO閉域アクセス	S202302141	BGP	192.168.10.2		設定

マネージドインターネットルータ

ルータのファームウェアリリース

- ルータの新しいファームウェア ver 21.11.14をリリースしました。
※お客さまにてルータのバージョンアップを実行していただく必要がございます。

ルータ設定

- Site-to-Site VPN設定にて、以下の変更をおこないました。
 - ・VPNコネクション情報と拠点ルータ接続設定の項目をまとめて表示するよう変更しました。
 - ・VPNステータスを表示する項目を追加しました。
 - ・拠点ルータの設定状況を明示する項目を追加しました。

マネージドインターネットルータ > ルータ設定 > CP453822-MR0002-1 / NXR-530 / CGW開発TM用単拠点 > Site-to-Site VPN設定

Site-to-Site VPN設定

No.	拠点ルータ		AWS			
	設定/削除	設定状況				
			リージョン	VPNコネクション		
				VPNステータス	VPNコネクションID/Name	詳細
1	<input checked="" type="checkbox"/>	設定済	東京	available	vpn-01b0c59f4eb7f2310 vpn-tokyo-001	詳細情報

拠点ルータ情報 WAN側IPアドレス: LAN側IPアドレス: 172.16.100.10/24

※拠点ルータ「設定/削除」欄にてチェックをつけて設定保存すると、拠点ルータとVPN接続が確立されます。
※拠点ルータ設定を削除するには、チェックを外し設定保存します。
※VPN接続はAWSコンソールの処理が完了するまで本画面に反映されません。
しばらく時間を空けてから画面を更新してください。

[戻る](#) [設定](#)

VPNコネ:	カスタマーゲートウェイ (拠点ルータIP/Name)	150.249.100.10	-
vpn-01b0c59f4eb7f2310	仮想プライベートゲートウェイ (VGW ID/Name)	-	-
vpn-tokyo-001	トランジットゲートウェイ (TGW ID/Name)	-	-

[詳細情報](#)

ソリューションパッケージ

WatchGuard FireboxV

- UTMが稼働する仮想マシン一覧は『bit-drive仮想マシンサービス』メニューの『仮想マシン管理』で表示していましたが、『WatchGuard FireboxV』メニュー配下の『仮想マシン管理』ページへ移設しました。
- 仮想マシン管理において、『電源管理』ボタンから『再起動』ボタンへ変更しました。

このページの内容
仮想マシンの再起動を実行してもよろしいですか?

OK キャンセル

意図しない再起動を防ぐため
確認メッセージを表示

仮想マシン名	仮想マシンタイプ	契約リソース	電源ステータス	リンク
 DG02901-UTM08-FireboxV	リソース共有型	OS: その他 CPU: 1コア メモリ: 4GB 標準ディスク: 40GB 追加ディスク: 0GB IPアドレス(LAN): 10.255.25 4.151 IPアドレス(WAN):	running	再起動 スナップショット管理 <input type="checkbox"/>

SONY

SONYはソニー株式会社の登録商標または商標です。

各ソニー製品の商品名・サービス名はソニー株式会社またはグループ各社の登録商標または商標です。その他の製品および会社名は、各社の商号、登録商標または商標です。